

新型コロナウイルス対策

地域支援寄付金助成  
実施報告書 2021

社会福祉法人立川市社会福祉協議会

# 新型コロナウイルス 地域支援寄付金について

新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し始めた 2020 年 3 月以降、活動自体の縮小・あるいは休止を余儀なくされるグループが増加し、ボランティア・市民活動や、サロン、自治会活動などを通じた「人と人とのふれあい」の機能が徐々に低下していくことが懸念されました。

一方で、コロナ禍においても学生やボランティアグループが自分たちで作製したマスクを各福祉施設へ届けたり、民間の飲食業の方から「ひとり親家庭へ昼食のお弁当を無料配布したい」という活動の相談を受ける中で、立川市社会福祉協議会としても「活動の応援に資するような取り組みが できないか」と検討し「新型コロナウイルス地域支援寄付金」を創設しました。

2020 年 5 月 1 日より寄付を募り、個人や企業・団体より延べ 500 万円を超えるご寄付をいただきました。いただいた寄付金を原資にグループや団体への助成をスタートし、今年度も継続して報告書という形で活動の紹介をさせていただく運びとなりました。

新型コロナウイルス対策に係る  
**地域支援寄付金**を  
募集しています!

新型コロナウイルスの影響を受けた  
子ども、高齢者、障害者等への支援活動、  
新型コロナウイルスに係る活動を行う団体等へ  
支援するための寄付金を募集します。

あなたの善意が  
直接活かされます

寄付金はこんな活動に  
使われます

子ども、高齢者、障害者等への支援活動  
新型コロナウイルスに係る活動を行う団体等への支援活動  
子ども、高齢者、障害者等への支援活動  
新型コロナウイルスに係る活動を行う団体等への支援活動

家になる主な活動 助成内容の例

と配布活動—マスク作成の布代  
の配給活動—持ち帰り業務の購入代、食料費  
の活用、配給する際のボランティア  
の提供やひとり親家庭への支援活動—教材費、給食の作成費 など  
費について、ご不明な点があればご相談ください。

募集期間 2021年5月1日～2022年3月31日

申込方法 FAX:042-529-8714 E-mail: info@tschawwa-shakyo.jp

お振込み口座 みずほ銀行 立川支店 普通 3083039  
社会福祉法人立川市社会福祉協議会 会長 鈴木茂  
多摩信用金庫 本店 普通 5532962  
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 会長 鈴木茂

※社会福祉協議会 立川市社会福祉協議会 地域活動推進課 地域活動課  
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 2-36-47 立川市社会福祉センター1号  
〒190-0019 立川市立川1-1-1 TEL:042-529-8300 / FAX:042-529-8714 E-mail: info@tschawwa-shakyo.jp  
URL: https://www.tschawwa-shakyo.jp/

# 目次

■新型コロナウイルス地域支援寄付金について…… P1

■目次…… P2

■助成金活用により実施した取り組み

ONPO 法人トモニ アイル……P3

○社会福祉法人立川市社会福祉協議会生活支援コーディネーター……P3

○WestWave 立川/○国際教育文化交流ビエンベニード会……P4

○こんなスペース“あったか〜い”（移動型子ども食堂）……P5

○いちばんこども食堂実行委員会……P5

○たこやきぱらだいす/○食べて元気いっぱいプロジェクト……P6

○砂川平和ひろばふらっと実行委員会……P7

○こどものたまり場すこやかひろば……P7

○立川ふじみ子育て支援ネットワーク……P8

ONPO 法人たちかわ多文化共生センター……P8

○Freeフードたちかわ……P9

○社会福祉法人立川市社会福祉協議会

ボランティア・市民活動センターたちかわ……P9

# 助成金活用により実現した取り組み

ひとり親世帯を  
支援したい!

## NPO 法人トモニ アイル

### 活動内容

ひとり親家庭へのサンドイッチおよび手作りハロウィンケーキの配布

### 団体より

昨年に引き続きこの助成金を活用することで、継続的に地域の方々と交流を持つことが実現し、地域との信頼関係構築に繋がりました。また通所されている皆さまが自信を取り戻すきっかけにもなりました。



## 社会福祉法人立川市社会福祉協議会

### 生活支援コーディネーター

### 活動内容

学生の『デジタルサポーター』によるスマホ教室の実施

### 団体より

助成金を活用し、デジタルサポーター協力者へクオカードをお渡しすることで、コロナ禍でアルバイト収入が減った多くの学生の参加が実現しました。

また学校の授業がオンラインメインになり、直接人と関わる機会が減った学生たちが、スマホ教室を通じて実際に高齢者と関わることで、人と繋がる機会を作ることができました。

コロナ禍で減少した学生の

活動の場を増やしたい!



## WestWave立川

夏休み・冬休み期間の  
子どもの居場所を  
作りたい!

### 活動内容

夏休みと冬休み期間の学習支援と食支援の実施

### 団体より

夏休みと冬休みを継続して実施できたことで、より多くの方にご参加いただくことができました。またキッチンカーを呼ぶことで、コロナ禍で自宅へ引きこもっていた方々に交流の機会を提供することができました。

今回実施したエリアは交通格差のある地域だからこそ多くの需要を感じています。今後も継続して取り組んでいける仕組みづくりを検討していきたいと思います。



## 国際教育文化交流

### ビエンベニード会

### 活動内容

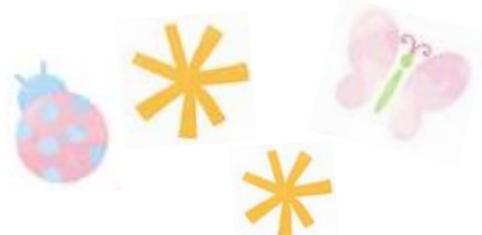
コロナ禍で影響を受けている子どもへの語学学習の提供と  
ひとり親家庭外国留学生への食支援の実施

### 団体より

家庭環境などに左右されることなく、誰でも語学に触れる機会を提供することができました。また他では学ぶ機会の少ない食事のマナーについても学習したりと、充実した活動になりました。

参加者の家族からは、自宅での食事の際にも積極的に手伝いをするようになったと嬉しい声も届いています。

子どもたちへの  
語学支援と食支援を  
行いたい!



### 夏の子どもバザー

2021.08.09



## こんなスペース“あったか〜い!” (移動型子ども食堂)

みんなが笑顔になれる  
場所と時間を  
提供したい!

### 活動内容

長期休暇期間に子どもたちが楽しめるイベントの開催および  
外出機会の少ない子どもや家庭へのお弁当配布

### 団体より

緊急事態宣言中だからこそ楽しみが少なく、今回のように  
集まる機会、人と会う機会をととても楽しみにしていたという  
声がたくさん聞かれました。また普段家からなかなか出る  
ことが難しい子どもたちを対象に、お弁当を配ることで継続  
的な関係を築くことができました。

たくさんのありがとうの声と笑顔が見られて活動側としても  
とても嬉しい気持ちになりました。



## いちばんこども食堂実行委員会

### 活動内容

見守りが必要な家庭への食品およびお弁当の提供

### 団体より

子どもたちの孤食解消を目的に、4年前より多世代型食堂  
事業を行ってきましたが、コロナ禍により休止せざる得ない  
状況が続いています。

今回この助成金を活用し、各家庭に食材やお弁当を提供さ  
せていただき、この状況下でできる支援を行いました。昼食  
支援イベントでは対象年齢を拡大し、より多く方にお弁当を  
配布できました。「おばあちゃんと孫が同じ物を一緒に食べ  
られて嬉しい」などの声聞かれました。

コロナ禍だからこそ

多世代型食堂に代わる

食支援を行いたい!



# たこやきばらだいす

## 活動内容

長期休み中の子どもの見守り活動や食事提供

および遊びや学習の提供

## 団体より

助成金のお陰で学習教材を購入することができ、個人のレベルにあった学習支援を行うことができました。また不登校気味な小学生や中学生の参加も多く、そのような児童・生徒にとってこのたこやきばらだいすが大切な交流の場になっていると感じました。

たこやきばらだいすが人と人が関わる学びの場になったことは、大きな成果だと感じています。

不登校や長期休みに  
見守りが必要な子どもを  
支援したい！



# 食べて元気いっぱいプロジェクト

## 活動内容

多世代へのお弁当配布とコミュニティスペースの運営

## 団体より

お弁当の無料配布、食品のおすそ分け会、誰でも参加できる多世代食堂を開催しました。

開催にあたってはさいわい地域包括支援センターや地域福祉コーディネーターとの協働で行い、幸町でだれもが立ち寄れる居場所づくりのスタートを切ることができました。

また、地域の方の協力をいただき、地元根差した場所であるスマイルキッチンをお借りすることができました。皆さんが気軽に立ち寄りやすいコミュニティスペースとして、今後も居場所づくりを進めてまいります。

子どもから高齢者までを  
対象とした食支援と見守りを  
行いたい！



## 砂川平和ひろばふらっと 実行委員会

不登校等による  
引きこもりがちな子どもの  
居場所を作りたい!

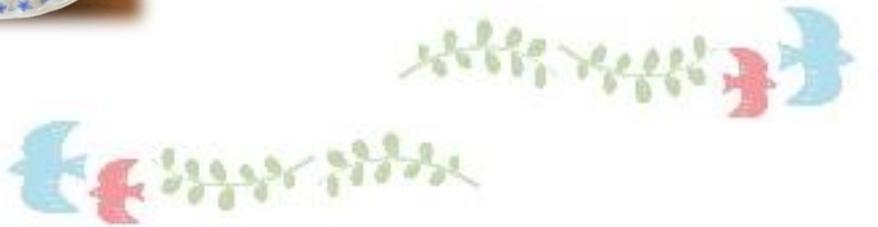
### 活動内容

「目からうろこ! 燻製っておいしい」の開催および

支援が必要な子どもたちへの学習サポートと見守り  
団体より

イベントではボランティアの皆さんにご協力いただきながら、屋外の会場にて普段はなかなか口にすることができない野外料理の定番「野外エキス100%入り燻製」を子どもたちが主役になって作りました。

学習支援では助成金で問題集や参考書を購入させていただき、学習支援の内容の充実につながりました。それぞれの事業を通じてボランティアや地域の方々と交流する機会が生まれ、子どもたちやその保護者にとってふれあいの場になったと感じています。



## こどものたまり場 すこやかひろば

### 活動内容

生活困窮の家庭への食支援

### 団体より

以前は子ども食堂として運営をしてきましたが、コロナ禍によりお弁当と食材を配布するパントリーに変更しました。パントリー形式になったことで、食堂の時は交流を求めて参加される方が多かったです。現在は食材を必要としている方が多く参加されています。

今後は支援を継続していくために、コロナ終息後の動きをどうしていくかを検討してまいります。

コロナ禍で

生活困窮になった世帯を  
支援したい!



地域の子育て世帯へ  
遊びと学びの機会を  
提供したい!

## 立川ふじみ子育て支援ネットワーク

活動内容

子育て世帯、子ども向けイベント

『ふじみ町みんなのおうち』の開催

団体より

老人会やボランティアの皆さんに協力いただきながら、コロナ禍で閉じこもりがちな子育て世帯のサポート、遊び、学びの機会を提供しました。参加者からは「コロナ禍でこのような場所がなくなり、久しぶりに集まることができて嬉しかった」などの声が聞かれました。

今後も世代を超えた地域住民の交流を目指しながら運営して参ります。



## NPO 法人たちかわ多文化共生センター

活動内容

外国にルーツがある子どもを対象とした生活支援事業および  
日本語教室の開設

団体より

令和4年度から開始予定の外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語と生活支援事業を行うための事前準備を行いました。日本語指導に使う教材や感染予防対策用品、教室で使う敷材を購入しました。一般から応募したボランティア支援も70名近い応募がありました。

市内の小中学校に通う日本語や学習支援を必要としている外国ルーツの児童・生徒は30~50名と想定されています。これから開始する事業がきっかけとなり、より多くの市民が正しい理解と認識を持ち、地域全体で支援していく体制作りにつながることを期待しています。

外国にルーツを持つ  
子どもたちの  
支援をしたい!



## Freeフードたちかわ

### 活動内容

コロナ禍で生活にお困りの方を対象とした

食料と生活用品の配布

### 団体より

毎回 200 名を超える困窮者が支援を受けにいらっしゃいました。年齢層も 10~90 代と幅広く、背景もアルバイトが無くなり家賃や学費の支払いが困難になった学生、世帯収入が減ってしまった子育て世帯、ひとり親家庭、非正規雇用を解雇された単身者、年金生活が厳しい方など様々です。

またまだ生活が苦しい方はたくさんいらっしゃるはずなので、その様な方々に今後どのようにアプローチすれば情報が届くのか大きな課題になっています。

コロナ禍で  
生活のお困りの方を  
広く支援したい!



## 社会福祉法人立川市社会福祉協議会

### ボランティア・市民活動センターたちかわ

#### 活動内容

地域型ポータルサイト『たちかわまちねっとWeb』の開設

#### 団体より

新型コロナウイルスの影響を受けて、市民や団体に新たな課題が発生したり、課題の深刻化が見られるようになりました。また生活困窮者が増加しており、ボランティア・市民活動センターたちかわへ寄せられるフードバンク利用の相談がますます増えて参りました。一方で『人のために何かしたい』と使命感を感じ、相談にいらっしゃる方や、企業から提供いただく寄付も増加しました。

今後多くの方へ必要な情報や支援をスムーズに届けるため、また積極的になっている市民活動や企業のボランティア活動を広げていくツールとして、このポータルサイトを積極的に運用してまいります。

必要な情報を

必要としている方に届けたい!



たちかわ  
まちねっと  
Web

TACHIKAWA MACHI-NET Web



二次元コード

# おわりに

新型コロナウイルス発生から2年が経過しましたが、地域では未だ対応策の  
見えない中でも、市民活動やボランティア活動を絶やすことなく、創意工夫を  
もって継続的な取り組みが行われてきました。おかげさまでこれまで30を超  
えるグループ・団体が助成金を活用し、子ども食堂や地域での居場所づくり  
の活動など、コロナに負けない活動を行うことができました。この場を  
持ちまして、改めて感謝申し上げます。

2022年5月1日からは新たに「地域支えあい寄付金」を創設し、  
これまでの「新型コロナウイルス対策地域支援寄付金」を引き継ぐかたちで、  
コロナ禍の影響等で生活にお困りの方への支援活動や、子ども・若者等、  
立川の未来を担う次世代を応援するための助成金として活用させて  
いただきます。

コロナ禍に加え、世界の社会情勢も出口が見えない状況ではありますが、  
今後ともご支援・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

たくさんのご支援を  
ありがとうございました。

ともにささえあう



社会福祉法人

立川市社会福祉協議会